

遊太郎巷談（1959）

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1959/01/14

【解説】

週刊誌に連載された柴田錬三郎の同名小説をもとに「弁天小僧」の八尋不二が脚色し「旅は気まぐれ風まかせ」の田坂勝彦が監督した時代劇。柴田原作、市川雷蔵主演、怪奇とエロスという「眠狂四郎」に通じる作品世界が繰り広げられる。

一年前に佐五親分を討った吉兵衛一家の全滅をもくろむ遊太郎は、用心棒の平手造酒に追われていた。遊太郎は上野輪王寺の宮と將軍家の娘の間に生れた若宮だった。彼は、幕府により取り潰された備前赤松の大名の娘であるつう姫が、幕府転覆を狙っていることを知る。そして大塩平八郎の門人である隅忠正は、彼女が持つ伝馬町の牢屋の地図を手に入れようとしていた。

【クレジット】

監督 田坂勝彦

製作 三浦信夫

企画 財前定生

原作 柴田錬三郎

脚本 八尋不二

撮影 杉山公平

美術 西岡善信

音楽 高橋半

出演 市川雷蔵

浦路洋子

金田一敦子

岸正子

阿井美千子

林成年

香川良介

植村謙二郎

清水元

水原浩一

石黒達也